

「昭和44年8月洪水」から40年 ～水害の記憶を伝えよう。庄内地区「巡回パネル展」を実施します。～

山形県内32市町村に甚大な被害を及ぼした「昭和44年8月洪水」。この大災害から40年を迎えるにあたり、災害の記憶を風化させず、災害への備えを考えるきっかけとしてもらうために、庄内地区において巡回パネル展を実施します。

1. 実施日時、実施場所

○庄内地区

日時：平成21年9月28日～10月26日まで

場所：庄内地区開催日程

酒田市：市役所ロビー 9/28～10/2

庄内町：響ホール 10/5～10/13

遊佐町：生涯学習センター 10/15～10/23

鶴岡市：S-MALL 1F 10/13～10/19

三川町：「いろり火の郷”田田” 10/20～10/26

2. 展示内容

・「昭和44年8月洪水」の被害状況の写真や水害への備えについての情報をパネル展示

・防災グッズの展示

・浸水ハザードマップの展示

※展示内容は会場の状況によって異なることがあります。

発表記者會：酒田記者クラブ・鶴岡記者會

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 酒田河川国道事務所

〒998-0011 酒田市上安町一丁目2-1

TEL:0234-27-3471 (調査第一課直通)

副所長(河川) 齋藤 信哉

調査第一課長 中島 勇一郎

「昭和44年8月洪水」の概要

昭和44年8月7日、発達した低気圧の影響で山形県全域は、猛烈な風雨に見舞われた。総雨量は、最上、庄内地方で150～200mm、村山地方で100～200mmを記録する大雨となった。このため最上川では、7日夜より急激に水位が上昇し、8日19時前後にそれぞれ最高水位に達した。中流部から下流部では昭和42年8月の羽越水害以上の水位を記録した。特に再下流の両羽橋においては、河口閉塞の堰上げの影響を受け計画高水位を上回る水位となり、下流部の各所で漏水が発生した。

被害は家屋の浸水、流出、田畑の流出埋没、交通途絶など32市町村にわたって甚大な被害があった。人的被害として死者2人、負傷者8人の他、建物、公共施設を始め土木被害、教育、衛生等広範囲にわたった。鉄道、道路とも各地で被害を受け、内陸と庄内は一時交通が途絶し、羽越水害に次ぐ豪雨災害となった。

主な被害状況

| | | |
|------|------|-----------|
| 人的被害 | 死者 | 2名 |
| | 負傷者 | 8名 |
| 住家 | 全壊流失 | 13戸 |
| | 半壊 | 17戸 |
| | 床上浸水 | 1,074戸 |
| | 床下浸水 | 3,834戸 |
| | 一部破壊 | 25戸 |
| 被害総額 | | 84億8925万円 |



最上川本川の出水状況 (酒田市中瀬地区)



藤島川の氾濫により浸水した家畜小屋 (三川町横川地区)